



令和6年度

粟生津小学校グランドデザイン

【 学校教育目標 】

考える 助け合う やりぬく

【 目指す子ども像 】

めあてをもって取り組み、仲間と共に高め合って伸びていく子ども

知 考える

自分の考えをもち、進んで学ぶ子

目指す姿

- 国語・算数の単元テストで、学年の平均点が到達率以上の学年が5学年以上。
- 「授業が分かる」と答える子どもが80%以上。(児童アンケート)
- 「自分の思いや考えを伝え合い、考えを深めることができた」と答える子どもが80%以上。(児童アンケート)

主な取組

- 授業の中で、じっくり自分の思いを考える時間を設定し、互いに伝え合ったり、話し合ったりする活動を複数の教科で取り入れます。
- 授業において、学んだことや考えたこと等、「振り返り」を書く時間を設定します。
- 「学年×10分間以上」の家庭学習に取り組めるように、家庭と連携しながら支援を進めます。

徳 助け合う

友達を大切にし、なかよくする子

目指す姿

- 「他の学年の人達と遊んだり、活動したりするのは楽しい」と答える子どもが80%以上。
- 「先生や友達に進んであいさつができる」と答える子どもが90%以上。
- 「友達を「さん」を付けて呼ぶことができる」と答える子どもが80%以上。(全て児童アンケート)

主な取組

- 「全教職員が全校の担任」との意識をもち、子ども一人一人に寄り添った教育を推進します。
- 児童会活動と連携し、縦割り班活動を充実します。
- 学年や児童会を主体とした「あいさつ運動」を実施します。
- いじめ見逃しゼロ強調月間の取組を行い、子どもたちが互いの存在を認め合い、尊重し合う活動を推進します。

体 やりぬく

進んで体づくりに取り組む子

目指す姿

- 「運動や身体を動かすことが好き」と答える子どもが90%以上。(児童アンケート)
- 体力テストで男女共に総合評価B以上の学年が半数以上。
- 元気アップ週間で目標就寝時間を3日間以上達成できた子どもが70%以上。

主な取組

- 体育の授業でランニングや柔軟運動を取り入れた準備体操を継続して行います。
- 体育的行事の際には、目標を立て、それに向かって練習に励み、振り返る過程に取り組めます。
- 基本的な生活習慣の改善と実施に取り組む指導を実施します。
- 元気アップ週間の結果を家庭と共有し、生活習慣とメディア利用の改善を図ります。

～子どもが真ん中、社会に開かれた粟小の共育*～

保・中との連携

- 「育てたい子どもの姿」を共有し、粟生津で生きる子どもを育成します。
- 保⇄小、小⇄中との情報交換を密に行い、きめ細かい指導に生かします。
- 保小中の交流を積極的に行い、小1プロブレム、中1ギャップの解消に努めます。

家庭との連携

- 学校と家庭で密に情報を共有し、同じ目線で子育てに取り組めます。
- 保護者アンケート等の声を生かした教育活動を展開します。
- 学校・学級だより、ホームページ等により、適宜学校の様子を伝えます。

地域との連携

- 学校運営協議会を核としたコミュニティスクール化を推進します。
- 地域の人材・施設・企業や地域住民のボランティアの支援を募り、教育活動の充実を図ります。
- 長善館を始めとする燕市の地域教材を学ぶ機会を設けます。

家庭・保小中・コミュニティ・スクール(学校運営協議会)における連携・協働

*「共育」とは、学校・家庭・地域・関係諸団体が、共に子どもたちを育てるという造語。